

AE86・PS/S13・FC3S・70スーパードラなどなど。80sチューンのすべて!

# Optima

2000年版

平成11年12月26日発行  
サンエイムック

責任編集



# 昭和車コミュニティ & バイク・スガガイド

最新スポーツをヤっつける!

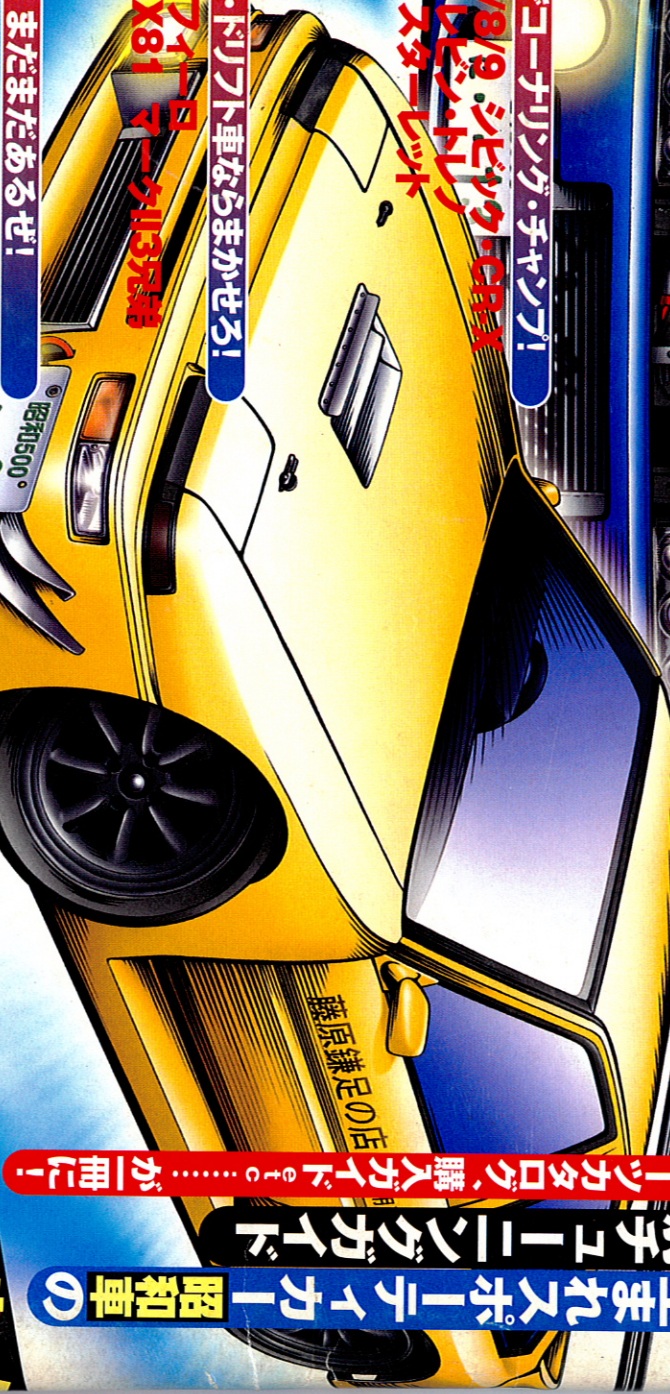
AW11 MR2  
RNN14 X/Rサー  
R30 スカイライン  
S30・130・Z31 フェアレディZ

FFコーチング・チャンク!

EF3/7/8/9 シビック-CR1  
AE92 ビックル  
EP82 スターレット

4ドア・ドリフト車ならまかせる!

A31 センター  
GX/JZX81 マーチR33系



まだまだあるぜ!

S12 シルビア  
MZ20 ソアラ  
E38A/39A キヤランVR-4  
.....他にもいっぱい!

解体屋さん & 中古パーツ店マツタ

AE86/PS&S13/FC3S/70スーパードラ大特集!

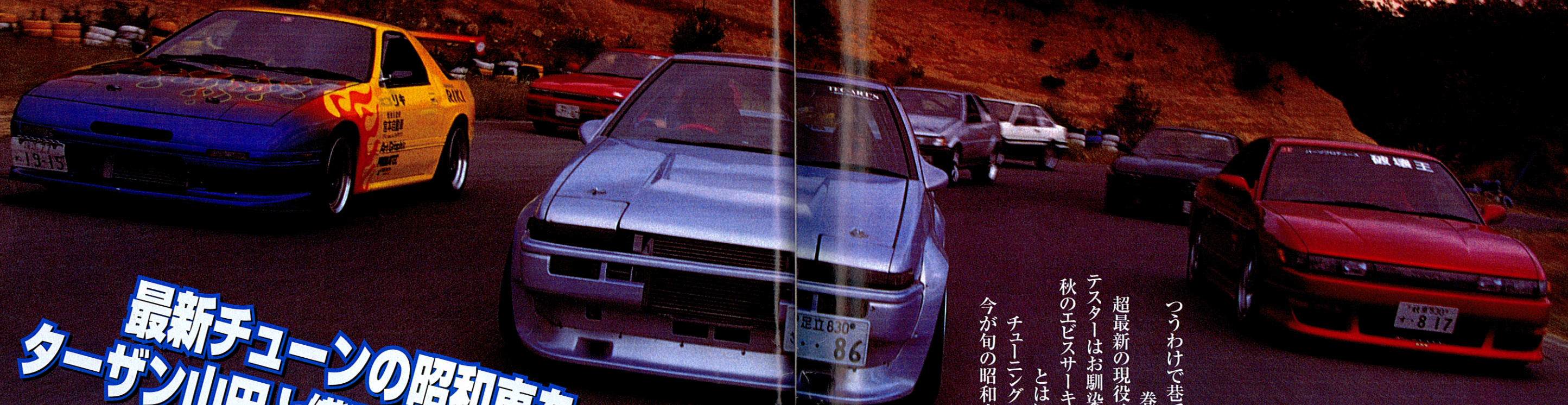
オリジナル&ターザンの

OPT POWER BOOKS  
580  
NEW

『最新昭和車イッキ乗り対決!』



# 最新車2000!



最新チューンの昭和車を  
ターザン山田と織戸“モン吉”学が  
一挙試乗!



**ターザン山田**  
ご存じ本名・山田英二、芸名!?がターザン山田。今や日本でチューニングカーに乗らせたら右に出るものがないほどの大馬力使いだ。本業のレースのほうもS耐での活躍を見ればわかるとおりバリバリ。



**織戸“モン吉”学**  
各雑誌で様々なネーミングを施される織戸選手だが、OPTでは今のところモン吉。GT選手権での活躍はもちろん、今年はNASCARにも参戦しているヤル気マンマンの自称現役暴走族。

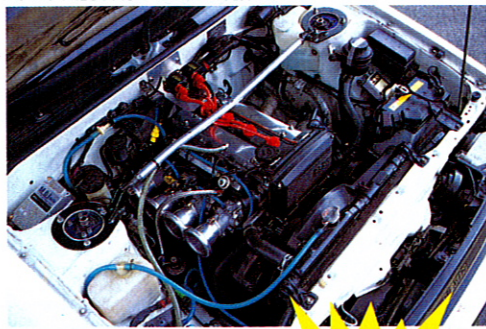
つうわけで巷で人気の昭和車大特集の第二弾。  
巻頭のこのページでは、  
超最新の現役チューニングを二挙に集めたゾ!  
テスターはお馴染みターザン山田と織戸“モン吉”学。  
秋のエビスサーキットに激しいクルマ達が大集合!  
とはいっても中身は超最新の  
チューニングテクノロジーのカタマリなのだ。  
今が旬の昭和車イッキ乗り! これでドウダ!

PHOTO:中野幸次・服部真哉 (MPS) / 岩島浩樹 (コリス)  
REPORT:後藤比東至・高藤昌洋 (モンキープロダクション) / 斉藤精一郎 (まめ蔵)



# 昭和車2000!

AE92後期の4A-GELUICに戸田レーシングカム(IN264度/EX288度)を組んだスピリッツ子太郎号の心臓部。4連スロットルはAE101AT用にスピリッツオリジナルの4連スロットルキット(インマニ、スロットルワイヤー、負圧タンク、ファンネル、ECU/16万9000円)で装着。軽いボディのハチロクに必要な十分な160PSを発揮する。



スピリッツオリジナルのカーボンエアロパーツを装着し、軽いハチロクボディをさらに軽量化。カーボンボンネット8万6000円、カーボンリップスポイラー3万9000円、カーボンリヤスポイラー3万9000円。



定番36φナルディ以外はほとんどノーマルなインパネまわり。肩肘張らずに乗れるところが子太郎号のコンセプトでもあるのだ。



シートはブリッド・ブリックスをチョイス。リヤシートもちゃんと機能するのだ。

NAハチロクは「気持ちよく、楽しく」をコンセプトに作ったというスピリッツ子太郎号。コンセプトどおり、AC、バウステッキの快適仕様で、シートから峠、サーキットまでオールマイティに楽しく走れる仕様に仕上がっている。ベース車両はお客さんからただでもらった?というからオドロキ。エンジンはAE92後期の4A-GELUICを搭載し、AE101用4連スロットル+オリジナルキットで武装。パワートレイン、サスペンションも煮詰められ、ハチロク全盛期ならフルチューン仕様といったところ。ただし、あくまでもデートから峠までを楽しむ、というコンセプトに基づいているから、インテリアはノーマル。リヤシートもちゃんと使えるところがスゴイ!



ツートーンのボディカラーはカーボンエアロパーツにより精神なイメージを醸し出す。マフラーはスピリッツオリジナルのデフ下ストレート、オールステン50φ、テール100φを装備。

街中から峠、サーキットまでというコンセプトどおりで、乗ってメチャ楽しい。音、特に吸気音がイイし、レスポンスも申し分ない。セッティングのバッチリ決まった昔のキャブ車に乗ってるみたいなんだ。まったく非の打ち所がナイね。パワー、足まわり...とにかくバランスが取れてる。踏み込める楽しさって言うかな...ノーマルのハチロクの延長線上にあるクルマだね。昔ハチロクにここが来たヒト、一回イクところまで行っちゃったヒトが最後に戻ってくる感じ。クセがないから長く乗れると思うよ。

**オリド CHECK!**

## 昭和車最新チューン! 最新ハチロク対決

# NAか、ターボか!?

~オリド学vsターザン山田で決着をつける!~



オリド学



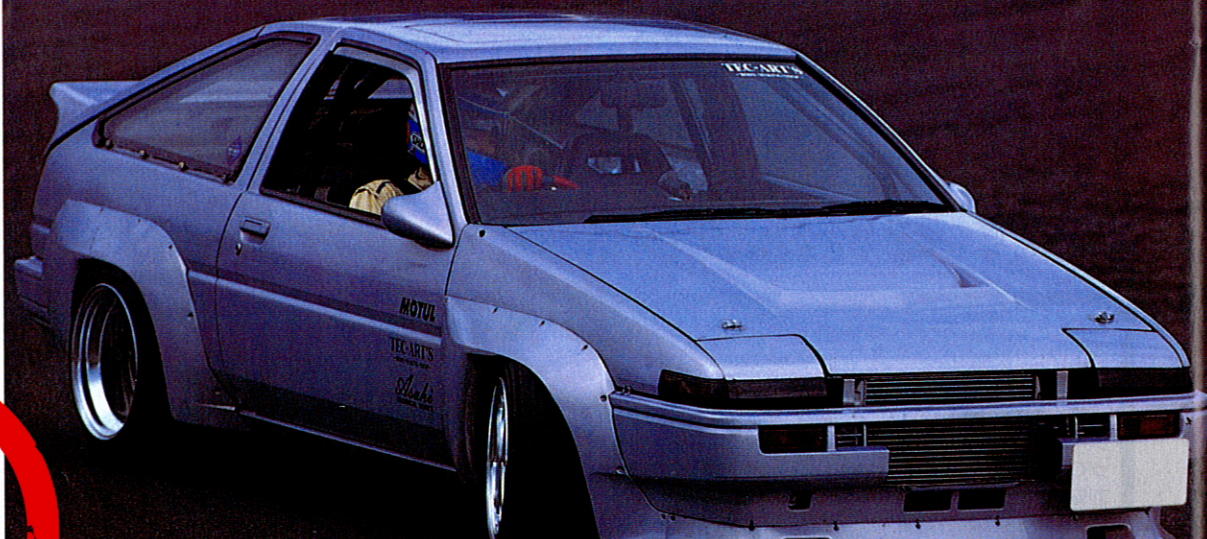
ターボ派 ターザン山田

# ハチロクチューンド対決

峠を中心にいまだに高い人気を誇るハチロク。そのハチロクの最新チューンで問題になるのは、手軽で低コストだけどセッティングが難しい「ターボ」仕様がいいのか、ハチロク本来の素性を生かした「NA」で極めるチューンがいいのか、ってことだ。つうわけで、早速ターザン駆るTEC-ARTSの斜流タービン搭載のトレノと、オリド駆るテクノ・プロ・スピリッツのスピリッツ子太郎号の対決だ!

## TEC-ARTS AE86 スプリンタートレノ改

TEC-ARTS 〒134-0091 東京都江戸川区船堀5-7-14 ☎03-3878-5864

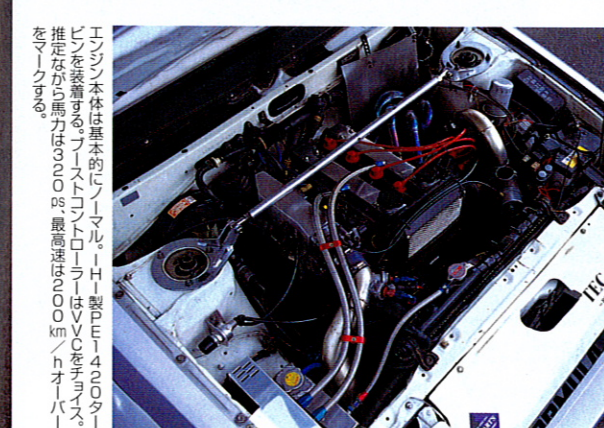


**「4500rpm からのパワーバンドを使いこなせば、ストリートからサーキットまでOK!」**

斜流タービンエンジン+ここまですケル!

**ターボ**

対するハチロク・ターボ派代表はTEC-ARTSのトレノ。「ノーマルエンジンにポン付けタービンで、どこまでイケルか?」をコンセプトに、コストを抑えて馬力を稼ぐ仕様なのだ。タービンはS14用斜流タービンをチョイスしてコストを抑えている。下からしっかり過給がかかり、上もしっかり1kg/cm設定でOK! ストリートからサーキットまで気持ちよく乗れるとはTEC-ARTSの鎌田氏。ちょっと前までのポルトオンターボは壊れやすい?なんて言われてたけど今はまったく問題なし。メカチューンだと「1馬力1万円」みたいなところがあるけどターボなら断然安くアガルのだ! またインタークーラーもランエボII用を流用してコストダウン!



エンジン本体は基本的にノーマル。IH製PE14200アイピンを装着する。ブーストコントロールはVVCをチョイス。推定ながら馬力は200PS、最高速は200km/hオーバーをマークだ。



**ターザン CHECK!**

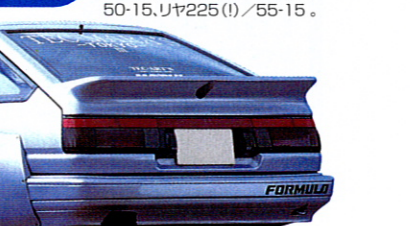
回転とともにブーストが上がる感じ。常にパワーバンド内で走らせられればNAにはない気持ちよさを体感できておもしろいよ。基本的にはサーキット向きかな。湾岸や最高速でも十分イケル。自分の手足のように使いこなせばかなり速いと思うよ。ちょっと気になったのは過給のかけ方が意外に揺るやかってコト。排気量が小さいからしょうがないけど、もうちょっとドカン的な部分があってもよかったかな。とはいえ、街乗りからサーキットまでオールマイティに対応できるハチロクターボには間違いナイね。



マフラーはTECオリジナルステンマフラー。パイプ径75φ、テール110φの迫力。



ト派手なオアフエンはN2仕様のオリジナル。タイヤはフロント205/50-15、リヤ225(1)/55-15。



ダクト付FRP製ボンネットはTEC-ARTSオリジナル。年内にリリース予定(価格未定)だ。